

# トランプ以後の世界はどこへ行くのか —連欧連亜のすすめ

筑波大学名誉教授 進藤 榮一

- \*目覚ましい中国の成長
- \*トランプ王国を支える人たち
- \*戦術も戦略もなく政略だけ
- \*カジノ資本主義の成立
- \*解き放たれたベトナムのトラウマ
- \*金権政治が民主主義を破壊
- \*一帯一路の四つの特質
- \*北朝鮮への軍事攻撃はあるか
- \*光と影の時間差と地域差
- \*資本主義は一つではない



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）

恒例になりましたが、本日は年1回のアジア平和貢献センターとの共催の講演会です。今日は筑波大学名誉教授の進藤榮一先生に来ていただきました。進藤先生には2年ほど前ですか、2月のシンポジウムでお話を伺いました。京都大学をご卒業の後、アメリカのジョーンズ・ホプキンス、プリンストンで学ばれ、その後、筑波大学で教鞭をとられました。最近ではアジア関係でいろいろお仕事をされておりますが、もともとアメリカに大変お詳しいということ、トランプのアメリカについてもご著書がございます。今日のテーマは「トランプ以後の世界はどこへ行くのか——連欧連亜のすすめ」です。アメリカでは今大変な問題が起きておりますし、世

界中で新しい流れがいろいろ出てきております。この世界の状況をどう見たらいいのか、今日はじっくりとお話しいただきたいと思っております。

それでは共催団体でありますアジア平和貢献センターの西原先生から一言ご挨拶をいただきたいと思えます。（拍手）

**西原** ご紹介をいただきましたアジア平和貢献センターの西原です。

今日は定例の講演会と形はまったく同じでございますが、ただいま柴生田理事長からお話がありましたように、年1回だけ私どもアジア平和貢献センターと経済倶楽部との共催となっております。経済倶楽部はすばらしい講師をお招きする完璧な能力を持っておられますけれども、私どもの持っている人脈とちょっと違ったとこ